

茅ヶ崎警察

を

大調査!



茅ヶ崎の警察

茅ヶ崎警察署は、昭和38年に現在の場所にできました。みんなで、約240人が働いています。そのうち女性は8人です。今後は女性を増やして、10人に1人が女性になるようにしていきます。

署内には、刑事課、生活安全課、地域課などがあって、いろいろな内容の仕事があります。女性は交通課で働くことが多いのですが、少しずつ増えると、交番などで働くことがあるかもしれないそうです。交番は、市内に14カ所あります。

警察官の持ち物・仕事

警察官の持ち物は、犯人を捕まえたり、そう査をしたりする

ときの必しゆ品です。警察手帳のほか、警棒、拳銃、無線機、警笛などがあります。

警察の仕事はたくさんあります。交通違反の取りしめりをしたり、事件が起こったらすぐに現場に向かったりします。警察は24時間みんなを守っています。

白バイ・パトカーのひみつ

警察署には、白バイやパトカーがあります。みなさん、乗ってみたいなあ、と思ったことはありませんか。わたしたちは、特別にお願いして乗せてもらいました。

白バイはすごく大きくて、いろいろな機械やメーターがついていて、テレビアニメにも出てきそうなほど、かっこよかったです。

わたしたちマリンジュニア編集委員9人は、12月7日、茅ヶ崎警察署取材しました。

警察の人たちは、どんな仕事をしているのかな？ 大調査が始まりました！



わたしたちも、実際にボタンばけを使わせてもらいました。少しむずかしかったけど、楽しかったです。

はく力まんてん！たいほ術

警察の人は、みんな週に1回1時間、たいほ術の訓練をします。剣道、空手、じゅう道などです。長い棒、短い棒、警棒などを使ったり、素手で戦ったりします。

見てみると、「はっ」と言ったり「とりやー」と言ったりするので、びっくりして後ずさりしてしまいました。気合いが入ってすごかったです。わたしたちも、警棒などで、警察の人のおなかをたたかせてもらいました。たたくのも、しん動が伝わってきて痛かったです。

パトカーの中には、カーナビ、ゲーションやメーターなどたくさんある装備があって、黒い色をしています。

白バイは、主に交通違反をした人を取りしめたり追跡したりするときに使います。パトカーは、犯人の追跡などをします。



みんなの安全のために

警察官に向いているのは、なによりもまず、健康な人。そして、みんなを自分を守る、という強い気持ちがある人だそうです。今、これを読んでいるみなさんはどうですか？

最後に、警察の人から、みんなにお願いがあります。

- 出かけたときは、明るいうちに帰ること。暗くなったら、明るい道を通ること。
- 防犯ベルを持ち歩くこと。
- 帰りがおそくなったら、できるだけむかえに来てもらうこと。無理なときは、人通りの多い道を通ること。
- 知らない人にはついていかないこと。

みんなの安全のためには、とても大切なことなので、必ず守るようにしましょうね。



110番通報・一番多い事件って？

茅ヶ崎警察署が担当する地域にかかってくる110番通報は、1日に30〜40件くらいです。署内を案内してもらったときも、電話がたくさん鳴っていました。中には、直接来る人もいます。夏には通報が増えるそうです。最近市内で最も多い事件は、自転車や車の中の物、オートバイなどがぬすまれることです。みなさんも自転車のかぎはしっかりかけて、ぬすまれないように注意しましょう。(かぎは2個くらいつけた方が安全かも！)

指もんのとり方

はんには、物などをとるときに、指もんをどこかにつけていくことがあります。その指もんをとる人が、かんしきです。

